



今回のツーリングは高速道路上のどこかのサービスエリアなどに集まるのではなく、現地集合で開催されたが、ランチ会場となった久住高原バルクラブへ至るまでのワインディングロードで参加者たちが駆るクルマがごく自然に長い隊列を成した。高原ならではの爽快な風と雄大な自然を楽しみつつ、九州全域&中国地方から駆けつけたスーパースポーツカーが心地よい排気音を奏でながら疾走した。



ROSSO EVENT SELECTION

クラブクルーズのツーリングは、春の九州スーパーカーランチとしてすっかり定着した感がある。今回はクラブクルーズの発足10年目にあたる節目での開催だったため、かつての「クラブ名結成式ミーティング」会場が、集合場所兼ランチ会場となった。

高桑秀典●文 Text by Hidenori Takakuwa 西野キヨシ●写真 Photos by Hiroyuki Kondo

毎

年恒例、4月の第3日曜日に実施されている「クラブクルーズ」のツーリングが、今年も予定どおりに開催された。

早いもので第14回となった今回は、クラブクルーズが、発足10年目、という記念すべき節目を迎えたこともあり、原点在り。シンプルな内容にしつつ、第2回目の舞台となった大分県の久住高原バルクラブを集合場所とした。

四季を通じて大自然を堪能できる点がバルクラブの魅力だが、4月中旬という時期は心地よい爽快な風を楽しめるタイミングだったため、お気に入りのスーパースポーツカーのステアリングを握って会場に駆けつけた参加者たちは、美しい高原ならではの新鮮な空気を味わった。

クラブクルーズのツーリングは、第9回目以降、春の九州スーパーカーランチ、としての側面も持つようになったが、今回のツーリングではバルクラブにおいて、豊後牛炭火焼バーベキューに参加者一同で堪能した。なお、冒頭で、原点在り。シンプルな形態となったと述べたが、今回はツーリング参加費用を無料とし、食事代のみを直接バルクラブへ支払うというシステムが導入された。これは主催者側が参加者の皆さんと一緒に青空の下で美味しい食事をいただきたいと思ったことによる初の試みで、クラブの結成から10年目を迎えた今回、実行に移された。

さて、現地集合だったことをお伝えしたところで、当日の全体的な流れも報告しておく。午前11時半にバルクラブに集まった参加者たちは、受付終了後にそれぞれのテーブルでバーベキューを開始し、久しぶりに再

# 発足10年目の、 原点回帰。



大分県の久住高原パルククラブは、クラブクルーズの第2回目のツーリングの際にも目的地となった。今回は90台にも迫るスーパースポーツカーとスタッフまでを含めた180名もの参加者が一堂に会した。参加車両の大半は新旧フェラーリだったが、なかには69年式の365GTのような精悍なクラシックモデルやフェラーリのオフィシャルバス(?)のような車両の姿も見受けられた。豊後牛炭火焼バーベキュー(デザートとして、いちごソフトもセット)だけでなく、恒例となっているジャンケン大会や集合写真撮影などもここパルククラブにおいて行なわれた。

パレードランの目的地となったのは、阿蘇山の北東に位置する「うぶやま牧場」。パルククラブから牧場までのルートはスーパースポーツカーを走らせるには最高の道で、例年同様、パレードランの道中において撮影が行なわれた。タイムスケジュールのラストを飾るのがパレードランだったため、牧場に到着した参加者たちはお互いに来年の再会を誓いあい、スタッフたちに見送られながら帰路についた。

## 14th CLUB CRUISE TOWN

会した仲間たちとのスーパーカー談話および美味しい食事を満喫した。会食がひと段落した後、13時からお馴染みとなっているジャンケン大会を楽しみ、集合記念写真を撮影後、各自愛車のもとへ戻り、14時から順次パレードランへと出発した。

今回のツーリングにもフェラーリを主体とする総勢90台にも迫るスーパースポーツカーが集結したが、新旧さまざまな車両が整然とパレードしていく光景は、まさに壮観だ。

クラブクルーズのツーリングは、毎回主催者側が参加者の期待に応えられるようにと趣向を凝らしているが、今回は敢えてシンプルな方向にシフトするということが提案された。きつと次回も、納得の内容となるだろう。

### Information

モータースポット・クルーズ  
●所在地〒811-3424福岡県宗像市  
原町2217-1(R3宗像バイパス沿)  
Phone 0940-37-0020  
<http://www.ms-cruise.com>

